

# 大会競技規則

## 【3x3 競技規則（簡易版）及びとらい夢特別ルール】

下記のうち、網掛部が「とらい夢特別ルール」となります。

コート	標準コートは横 15m、縦 11m ※本大会は、既存コートの半分を使用
用具・器具	試合球は、nBb-1on1 inc. から借用のボールを使用
選手登録	4～6名（出場選手3名+控え選手）
ユニフォーム	シャツは、チームで統一されたものを着用のこと。 ※事前に申し出があれば、ビブスの貸し出しをいたします。
審判	1名もしくは2名
タイムアウト	1回（30秒）
ゲームの開始	ジャンケンによって決定 ※ジャンケンに勝ったチームが最初に攻撃側となるか守備側となるかを選択することができる。
競技時間とゲームの勝敗 (得点の上限)	どのカテゴリーにおいても試合時間は8分間 競技時間が終了した時点で得点の多いチームが勝ち ※どちらかのチームが21点以上得点した場合、その時点で試合は終了となり、そのチームを勝ちとする。 ※勝敗数が同じ場合は、得失点で勝者を決める。得失点も同等の場合、じゃんけんで決定。 ※時間を止めずに行う。但し、残り60秒から、ボールがデッドになったときとフリースローの場合は時間を止める。しかし、決勝についてはボールがデッドになった時とフリースローの場合は時間を止める。
延長	先に2点を得点したチームの勝ち（この際、21点ルールは適用にならない。） ※1分間のインターバルの後に延長をおこなう。 ※延長の開始は、ゲーム開始時の守備側が攻撃側となり、スタートする。
得点	スリーポイントラインの内側からのショットによるゴールは1点 スリーポイントラインの外側からのショットによるゴールは2点 フリースローによる得点は1点
ショットクロック	12秒
ショット動作中のファウルで与えられるフリースロー	スリーポイントラインの内側でのショット時のファウルは1個のフリースロー スリーポイントラインの外側でのショット時のファウルは2個のフリースロー
チーム・ファウルによる罰則 (7、8、9回目)	ショット時でないファウルであっても、ファウルを受けたチームは2個のフリースローが与えられる。スリーポイントラインの内側からのショットに対するファウルにもこの罰則は適用される。(ショットがカウントでも2本のフリースローを与える) ※オフェンス・ファウルには適用しない。
チーム・ファウルによる罰則 (10回以上)	ショット時でないファウルであっても、ファウルを受けたチームは2個のフリースローが与えられ、さらに、ボールの所有権も与えられる。ツーポイントラインの内側からのショットに対するファウルにもこの罰則は適用される。 (ショットがカウントでも2本のフリースローを与え、ボールの所有権も与える) ※オフェンス・ファウルには適用しない。
テクニカルファウル/アンスポーツマンライク・ファウルによる罰則	テクニカルファウル：ファウルを受けたチームは1個のフリースローが与えられ、そのフリースローの成否にかかわらず、攻撃権が与えられる。 アンスポーツマンライク・ファウル：ファウルを受けたチームは2個のフリースローが与えられ、2投目のフリースローの成否にかかわらず、攻撃権が与えられる。 ※オフェンス・ファウルには適用しない。
フィールドゴールが成功したときのボール所有権	守備側だったチームが攻撃側となりゲームを再開させる。 あらたに攻撃側になったチームは、リングの下からドリブルあるいはパスによってボールを一度スリーポイントラインの外※1まで運ばなければならない。あらたに守備側になったチームは、ボールが“ノー・チャージ・セミサークル”の外に出るまではボールに対してプレイをしてはならない。
守備側がリバウンド、スティールしたとき	ドリブルまたはパスなどによって、ボールを一度スリーポイントラインの外※1まで運ばなければならない。
ノット・クリア・ザ・ボール	上記の通り、ボールの所有権が変わった際に、スリーポイントラインの外側までボールを運ばずに、ショットをしてしまった際にはヴァイオレーションである。ショットをしたときに、ヴァイオレーションとなるので、ショット以外のプレイ（パスやドリブル、フェイク等）をしているときにはヴァイオレーションにはならない。 その際には、審判は片腕を掲げ、左右に振ることで、まだボールがスリーポイントラインの外側に運ばれていないことを選手に伝えなくてはならない。
ボールがデッドになったときのボール所有権	コート内のスリーポイントライン外側の頂点付近で、守備側になるチームの選手が攻撃側になるチームの選手にボールをパスあるいはトスして渡し（“チェックボール”）ゲームを再開する。
ジャンプ・ボール(ヘルドボール)のとき	守備側だったチームのボールとなり、チェックボールでゲームを再開する。
個人ファウルと退場	アンスポーツマンライク・ファウルを2個、または、ディスクォリファイリング・ファウルを宣された選手は退場となる。ただし、個人のパーソナルファウルはカウントしない。
選手交代	どちらのチームもボールがデッドになり、“チェックボール”が行われる前であれば選手交代をすることができる。 交代する選手は、コートから退く選手がコートから出る際に“タッチ”等の身体接触を交わしてからゲームに入ることができる。審判や TO に選手交代を伝える必要はない。 ※フィールドゴール/フリースローが成功した直後に、選手交代をすることはできない。

※1「スリーポイントラインの外に出る」というのは、ボールを持った選手のどちらの足もスリーポイントラインの内側についていない状態を指す。

※上記競技規則は 3x3 ルールを分かり易く要約したものであり、競技規則は(公財)日本バスケットボール協会【2021 3x3 バスケットボール競技規則】を参照すること。